

11月 Happy Autumn 【2】 秋桜2019 深まり行く秋

◎ 収録 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にしたこと
From Kobe Mutsu Nakanishi



高齢になって いろんな課題が山積ですが、どうか無理せず、
お互い 声かけあって 身を守るとともに、
助けも得て 今を元気に前向いて Happy Autumn に
また、もう 想定外などと言っておられぬ地球環境変化
秋になっても 度重なる大型台風など
長野・関東ほか日本列島各地に大きな災害 お見舞い申し上げます
被災された皆様が一日も早く立ち直られますよう



ワールドカップラグビーに熱狂したのも もうおしまい。
ふと気づくと街路樹も 色づいて すっかり秋模様。
遅れていたコスモスも満開をすぎ、日に日に日没が早くなったと感じる11月
世相は相変わらず迷走。いたるところで身勝手なおおよそ理解できぬ変なことが起き始め、
社会のほころびが誰の目にも見えだしてきた。
「自分の身は自分で守る」とはいうものの もう身に余る高齢者
せめて 感度と準備だけは怠りなく ぼんやりしてるわけにいかんなぁ。。。。と。



2019 秋桜 東播磨秋の風物詩 加古川市志方の郷のコスモス畑 今年も出会えました



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019 秋桜
加古川市志方 広尾の里で 2019.10.28



コスモス畑を心癒よ！そ旣が通りゆき 秋風っ唄り
今年も田舎をピンクの朝顔に埋め尽くすコスモスに出会えました

Happy Autumn
暑くなってゆきますが、お互い無理せず元気に!!
忘れない 忘れまい みんな仲良がいる
我が道をしっかりと
God be with You!!

2019.11/9 From Kobo Mutsu Kakanishi



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城の牧場山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28

秋の夕暮れはつるべ落とし 落日 里の夕景 こんな夕暮れが撮れました



2019.10.10. 里の秋 西神戸 白川峠の北側 布施畑の郷



2019.10.28 2019秋 東播磨 中の上集落に隣接する白川峠の里



2019.10.10. 白川峠北 布施畑の里 秋の夕暮れ



2019秋 日没 妙法寺若草 自宅の庭より 2019.11.1.

From Kobe この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にしたこと

「効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は 人々を幸福にしない」
GAFa グローバルな巨大企業の存在は 富を集中し、富の分配がなされない
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会造りへ舵を切る》
パラダイムシフトの波が世界のあちこちで、おこりはじめた」と。



ワールドカップ ラグビーに熱狂したのももうおしまい。 心と気がつくと街路樹も色づいて すっかり秋模様。遅れていたコスモス畑の花も盛りを過ぎて、日に日に 日が短くなってきたと感じる 11 月 世相は相変わらず迷走。いたるところで 身勝手なおおよそ理解できぬ変なことが起き始めている。社会のほころびが誰の目にも見えだした。

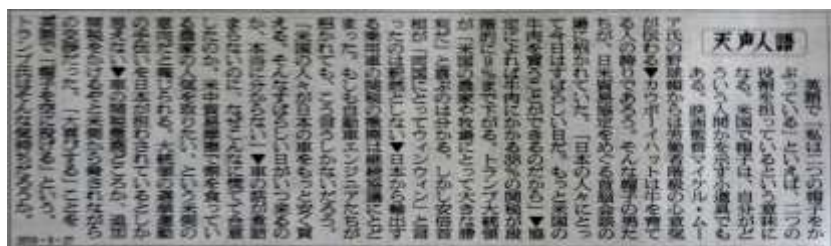
「自分の身は自分で守る」とは言いますが、もう身に余る高齢者 せめて感度と準備だけは怠りなく。ぼんやりしてる訳にはいかんなあと。

いつまで 想定外で済ましてしまうのか…… みんな安倍さんの真似をして ますますおかしくなる。「責任として 受け止めねばならぬ」と他人事のように言い捨て、「幕は引けた」と通り過ぎるのを待つ。「責任として受け止めたなら、対策と行動を見せてよ……」と思うのですが、「受け止めることが責任行動」と変な辻褃のあわない音なしの構え。そろそろトランプさんも安倍さんもみんな そんな常套句の化けの皮がはがれてきた。もうみんなまたか…と。世界は今 大変革の時代を迎えている。「行き過ぎた効率化・選択と集中と大量過剰生産の今のマニュアル社会は 人々を幸福にはしない」と気づき始めた国々。貧困と増大する格差からの脱出へ、舵が切られ始めた。正解はまだ見えないが、各分野での具体的な「対策・行動」の試行が進んでいる。日本はどうか 都合の良いメディアを使った自分を抜きにした「評論・解説・How To マニュアル」等々の氾濫。「私にとっては今が一番 先のことは先。皆で渡れば怖くない 今までだって そうだった」と。でも 現に日常今までが通用しなくなっている現実のいかに多いことか 目をつぶるわけにはいかないのでは……。

この秋 何度か耳にした…… 激動変革の時代 世界は舵を切り始めた

「効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は人々を幸福にしない」
GAFa グローバルな巨大企業の存在は富を集中し、富の分配がなされない」
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会造りへ舵を切る》
パラダイムシフトの波が興りはじめた」と。

ここは 柔軟な若者たちに任せるのが、得策ではないか……
そんな目で眺めると、日本のおかしさも 色々見えてくる。
でも 愚痴は言うまい
若者に期待しつつ 隅っこでなんとか



また、この秋うれしいことも。

リチウムイオン電池で 旭化成 吉野彰氏がノーベル化学賞の受賞

リチウムイオン電池の旭化成 吉野彰氏のノーベル化学賞受賞 おめでとうございます。

日本では基礎・基本の発明や発見研究に評価が偏るが、今回の吉野彰氏は根っからの技術開発屋さんに見える。開発を知るエンジニアにとっては本当にうれしい受賞。

リチウムイオン電池が今日これだけ実用展開されたのは吉野氏の発見・発明があったからこそ。

世の中で発明された技術や製品が役立つには 最初の基本・基礎発明・発見と同格で、実用化技術が同時に開発されたからだ。

「外見・形ばかりでなく同じ品質・性能レベルでいつもみんな作り上げること」が必要。これが実用開発。実用化開発なくしては絵に描いた餅になってしまう。

これがまた苦難の連続。基本発明・発見と同じ同等の苦労・挫折があるが、それに目を向ける人は少ない。

技術屋同士がよく使う会話がある。

「研究はええよなあ・・・ 一つ作ればOK 原理と特性を明らかにし、次へ新たな挑戦だから・・・

開発はそうはゆかん。製品となれば100が100 同じ品質・性能レベルでそれにコストも 」

「そんなこといっても 基本の発見・発明がなければ、実用化なんてないよ 」と。

でもなんぼ素晴らしい発明も実用開発が完成しなければ、世に出ることはない。

原理原則だけでは世に出せないのである。

今回この実用開発研究とそれによる実用実践が評価されての受賞 うれしい限りです。

今 日本ではいくつかの指標と照らし合わせ

「画期的な発明・発見がない。世界に誇れる技術が減少し、技術立国日本が一機に急落している」との認識が広がり、大きな課題となっている。

その原因として日本の大学研究費の分配制度の偏重が大きな問題とみる学者が多い。

文部省・政府の視点を欠く選択と集中がもたらした弊害に見える。

国土のインフラ整備 成熟社会での今後の展開社会等々今見える弊害の多くが同じ原因かも。

政治の在り方 社会の仕組みが 今も旧態依然高度成長期をいまだに引きずり、

高度成長の成功体験をベースに判断がなされているという人が多い。

「従来の延長線から脱したパラダイムシフトが急務になっている。

でも それを担えるのは老化した頭ではなく、間違いなく若者たちである。」

そんな主従逆転の枠組みが今必要となっている。

毎日の中でそんなひずみがあったところでみんなに見えだしたこの秋。

日本は今 どこへ行くのか・・・ 日本だけがひとり 迷走が続いているように見える。

日本がんばれ!! 若者頑張れ!!

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!

異常気象進行の中 自然や交通など災害が猛威を振るっています
体調維持とともに災害予知にも感度をあげた行動をご留意ください